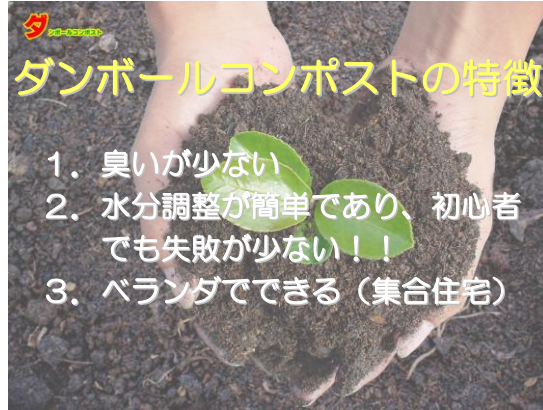




ダンボールコンポスト

ダンボールを利用し生ごみを堆肥にするコンポストを紹介します。簡単に作ることが出来ますのでぜひトライしてみてください。

用意するもの ダンボール箱 32×36×32cm程度
もみ殻くん炭 10ℓ・ピートモス 15ℓ
ガムテープ、スコップ、虫よけキャップ



ダンボールコンポストの特徴

1. 臭いが少ない
2. 水分調整が簡単であり、初心者でも失敗が少ない！！
3. ベランダでできる（集合住宅）

準備しましょう。



設置しましょう



①ダンボールの底を2重にしましょう。長持ちします！

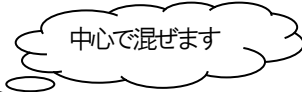


④置き場所を決めましょう。

- ①雨やどりができる
- ②風とおしがいい
- ③日あたりがいい（冬対策）



②通気性のあるテープを貼る。虫の進入を防ぐ



⑤生ごみを入れましょう。1日500g～1kgを目安に生ごみを投入



③基材を箱に入れよう。ピートモス・もみがらくん炭をダンボール箱に移し、よく混ぜ合わせる。



Tシャツなどを利用します。

⑥虫よけキャップをかぶせましょう。

虫が発生した

虫対策1. 退治しよう！

密閉し、熱と酸欠で退治
半日～1日で処理出来ます。



対策2.

コンポストの温度を上げる

- ・穀物類
- ・みかんの皮
- ・魚のあら
- ・米ぬか
- ・甘い物
- ・カニガラ
- ・とりのからあげ
- ・天ぷら油（廃食油）

-ポイント-

- ①混ぜ方は、コンポストの中心に生ごみを入れ混ぜ合わせ、7日～10日程度で、糸状菌（白色）が発生する様にします。
- ②生ごみは小さくするほど発酵分解が早いので、小さくするとよい。
- ③分解されにくいもの
 - ・鶏がらなどの骨類
 - ・とうもろこしの芯
 - ・たまねぎの皮
 - ・卵の殻
 - ・防腐剤が使用されているかんきつ類の皮
- ④魚の内臓、イカの内臓などを大量に投入するとアンモニア臭が出る。

※ 入れてダメな物・・・しじみ貝・アサリ・カキ殻

